

屋代高等学校同窓会館建設・創立100周年記念事業

趣 意 書

謹啓

平成28年を迎え、皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は母校のために格別なご支援を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

さて、屋代高等学校は、大正12年に長野県埴科中学校として開校されて以来、2万4,000名にのぼる卒業生を世に送り出し、国の内外において活躍されておられますことは、ご承知のとおりでございます。

同窓会による記念事業は、創立30周年（昭和38年、1963年）以来、過去6度にわたって行われ、それぞれが見事に結実して、滔々たる大河の如く未来に向かって発展を続ける母校に輝かしい歴史を刻んで参りました。これら諸事業の達成は、平素潜在している会員一人ひとりの母校への矜持と、「魂のふるさと」への強い思いの結晶であり、ここに発揮される母校を思い、故郷を想う心情に改めて感銘を深くいたしております。

平成25年の創立90周年記念事業において、創立以来永年の懸案となっている同窓会館の建設について「状況が整い次第、建設に着手すること」として、その募金の一部が「同窓会館建設準備基金」に充てられました。これを受けて平成27年度総会において、県下100余校の中で同窓会館建設への着手は後発に属しておりましたが、その建設が満場一致でご賛同を賜りましたところでございます。

つきましては、下記により、広く会員皆様のご理解とご賛同を賜り、その資金を募りたいと存じます。先の創立90周年事業でも温かなご支援を賜ったばかりのところ、大変恐縮でございますが、本年は、後述の「これまでの経緯」にて記しますように、同窓会館建設に機が熟した時であり、また県下初の公立中高一貫校に入学した附属中学生80名が、全員揃って高等学校に進学した記念すべき年度でもありますので、7年後の創立100周年に繋げるべく、その記念事業の準備基金と併せて、ご支援をお願い申し上げます。

なお、今回の募金計画が達成された場合には、創立100周年記念事業のための募金は、改めて行わないことといたします。

会員皆様の益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、お願いとさせていただきます。

謹白

平成28年 3月 吉日

同窓会館建設・創立100周年記念事業実行委員長 赤地憲一
(屋代高等学校同窓会長)